

# くすりのしおり（案）

内服剤

2024年09月作成

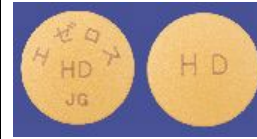
薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 製品名：エゼロス配合錠 HD「JG」

主成分：エゼチミブ (Ezetimibe)  
ロスバスタチンカルシウム (Rosuvastatin calcium)

剤形：うすい赤みの黄色の円形の錠剤、直径 8.7mm、厚さ 4.4mm

シート記載など：エゼロス配合錠 HD「JG」、エゼロス HD、配合錠 HD、エゼロス配合錠「JG」、HD、高コレステロール血症治療薬、エゼチミブ 10mg、ロスバスタチン 5mg、EzeRosuHD



## この薬の作用と効果について

小腸壁細胞にあるタンパク質を介してコレステロールおよび植物ステロールの吸収を阻害する作用と、肝臓のコレステロール合成を阻害する作用により、血液中のコレステロールを低下させる効果のある合剤です。通常、高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症の治療に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。糖尿病、甲状腺機能低下症、遺伝性の筋疾患（筋ジストロフィーなど）またはその家族歴、薬剤性の筋障害の既往歴、アルコール中毒、重症筋無力症またはその既往歴、肝機能障害、腎機能障害がある。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回1錠を1日1回食後に服用します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたとき、寝る前までにできるだけ早く1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・指示された食事療法や運動療法をきちんと守ってください。
- ・使用中は血中脂質値を定期的に検査し、治療に対する反応が認められない場合には投与が中止されます。
- ・この薬の使用開始後、またはロスバスタチンの用量が増えた後は、原則としてその12週間までは1か月に1回、それ以降は定期的（半年に1回など）に肝機能検査が行われます。
- ・血小板減少があらわれることがありますので、血液検査などが行われます。
- ・腎臓の機能に関する臨床検査値に異常が認められる人に、フィブラート系薬剤（ベザフィブラートなど）を併用する場合には、急激な腎機能の悪化を伴う横紋筋融解症があらわれることがありますので、定期的に腎機能検査などが行われます。筋肉の痛み、脱力感などの症状があらわれた場合には医師または薬剤師に相談してください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、感覚鈍麻、便秘、発疹、紅斑、アレルギー性皮膚炎、かゆみ、湿疹、蕁麻疹、背部痛、四肢不快感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・発熱、食欲不振、赤い発疹〔多形紅斑〕
- ・筋肉痛、脱力感/まぶたが重い・下がる、物がだぶって見える、食べ物が飲み込みにくい〔横紋筋融解症、ミオパチー、免疫介在性壊死性ミオパチー/重症筋無力症〕
- ・吐き気・嘔吐、からだがだるい、皮膚や白目が黄色くなる〔肝炎、肝機能障害、黄疸〕
- ・鼻血・歯ぐき・皮下の出血〔血小板減少〕
- ・四肢の感覚鈍麻、しびれ感などの感覚障害、疼痛、筋力低下〔末梢神経障害〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。